

種智院大學 同窓會報

第5号

平成元年8月5日

京都市南区壬生通八条下東寺町545番地
種智院大學同窓會

平成元年度總會開催

母校の改善計画に全面協力を決議

平成元年度同窓會總會は、平成元年6月6日(火)、洛南會館において、午後1時30分より開催された。これまで、總會は秋に行われてきたが4月1日より当該年度の予算が執行される会則のうえから、年度始めに近い段階での開催が望まれていた。このたびようやく、これが実現されることになった。また、今回は池田瑩輝新会長のもとでの初めての總會でもある。なお、總會後の記念講演には東京芸術大學名誉教授西村公朝先生を迎え母校に最も近い洛南會館を会場とし、準備を進めてきた。

總會は、午後1時30分、池田瑩輝会長の開會挨拶からはじまった。会長は、これより先に開催された常任幹事会の議事をふまえて、母校の現状を考えながら、この總會を意義あるものとした旨、挨拶。つぎに、来賓として出席の真言宗京都学園理事長、教王護国寺長者鷲尾隆輝猊下より、大学の発展のため、同窓會のご協力を賜わりたい旨、挨拶があった。大学から、病欠出席の麻生文雄学長に代わり山崎泰廣教授が、大学の現状を述べ、同窓會にご協力を頂き、さらなる充実をはかりたい旨、挨拶。

つづいて、議事にはいり、手嶋千俊副会長を座長に選出し、次第に従って議事がすすめられた。

まず、昭和63年度事業報告、同決算報告(別紙)が、事務局より報告。前年度は、10支部の設立をはじめ、会報、会員名簿発行など、激動の一年であった。そのため、予算より、大きく上回る決算となったことが報告された。なお、監査である仁和寺執行長吉田裕信師より、隨心院事務長市橋真明監査とともに、決算の監査を行った結果、すべての書類が適正に運用されている旨、監査報告がなされた。

つぎに、平成元年度事業計画、同予算(別紙)が事務局より報告。今年度は、三回の会報発行、

秋の研修旅行の計画案を提出。予算については、終身会費の納入が好調であることをふまえて、500万円余の繰越金を守り、年会費、広告費等の収入の充実をはかりたい旨、報告。

以上の件について、總會参加者全員の賛同がえられた。

つぎに、これまで曖昧であった慶弔規定について、内規を定めることになった。その内容は次のとおり。

- 1 会員の弔事 (1)本部現役員
弔電 香料10,000円
(2)本部旧役員
弔電 香料10,000円
(3)会員
弔電
- 2 会員の慶事(結婚、各種褒賞等の受賞)
(1)会員の結婚
祝電
(2)会員の各種褒賞等の受賞
祝電 記念品
- 3 種智院大學専任教職員の退職
記念品
- 4 その他、会長が必要と認める事項がある場合には、上記規定に準じておこなう。

以上の内規について、審議した結果、全員の賛同が得られ、總會開催日より施行することになった。

つづいて、種智院大學改善計画についての提案がなされ、大學企画室嶋裕海次長よりその概要についての説明がなされた。嶋裕海次長の説明の要旨はつぎのとおりである。

大學は、昭和57年文部省より出された改善勸告を鋭意努力して、改善につとめてきたが、校舎、校地が狭隘であるとの問題については、法人理事会のご賛同を得て、校舎の増改築に取り組む事業を開始することになった。18才人口の減少期を迎え、よりよい教育環境をつくることは、大學存亡の危機を克服する最善の手だてである。この事業

経費について、理事会は総額10億円と定め、現校舎の北側に校舎一棟を建築、現校舎の改修、施設・設備の充実も、この機に行く。事業費10億円のうち、経営御本山より5億円、後援会3億円、同窓会2億円の目標であれば、大きく前進できるであろう。同窓会の皆様の御協力を賜りたい。

また、民岡哲雄師（同窓会参与）が本事業の勧募委員長に就任されていることが、報告され、同師より次のような挨拶があった。

老齢ではあるが、とにかく母校のために、一身を投ずる覚悟である。同窓会の皆様のご尽力、ご協力をお願いしたい。

つづいて、理事会における勧募担当理事として、同窓会監査でもある吉田裕信氏が就任。次のような挨拶があった。

先般の理事会において、勧募担当理事を拜命することになった。同窓会では、支部が結成され、総会も積みかさねられ、団結の機運が高まっている。会員の皆様にはご迷惑をおかけすることになるが、皆様の総意で、熱き情熱を燃やしていただくことを念願している。

ここで、座長の手嶋師より、改善計画について、総会として、全面的協力を賛同していくことが提案され、満場一致の力強い拍手により、改善計画の協力を決議した。

さらに、具体的方法をめぐって、種々の意見が座長より求められた。

(1)今後の将来計画の見通しを随時明らかにして

いくべきこと。

(2)勧募を積極的におし進めていくためにも、より有効な計画案をたてるべきではないか。

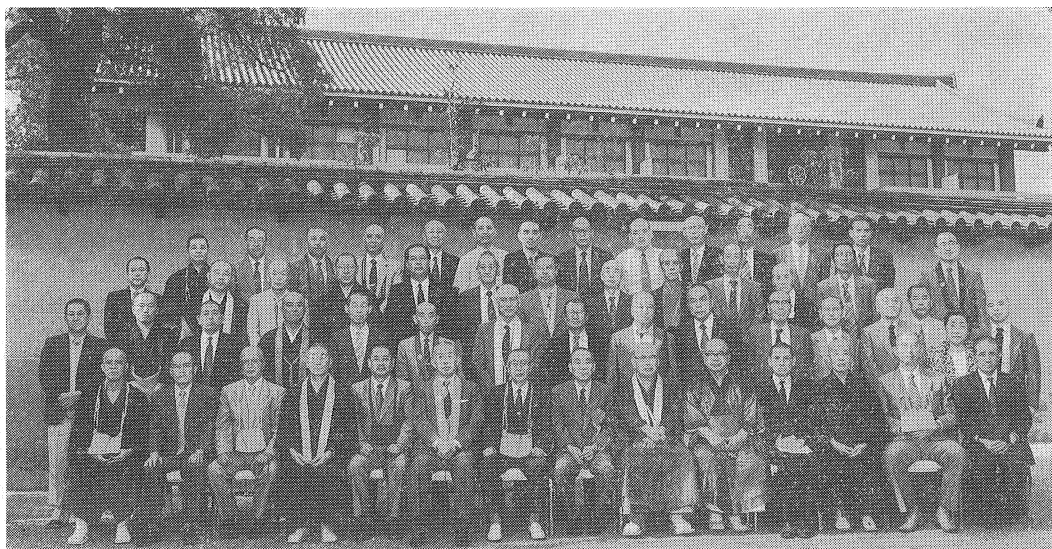
(3)地方は経済的価値も低く、困難な面が多い。しかし、母校の窮状は見るにしのびない、できる限りのことをしたい。

(4)改善計画を吟味すれば、早期に着手されるべきである。総会の決議をふまえて、各支部の動きがきわめて重要である。

最後に、池田会長より次のような趣旨の発言がなされた。

再三固辞した会長に就任したが、従前より「同窓会は口は出すが、金は出さない」と主張してきた。しかし、母校の現状をみると、理事長さん、学長さんをはじめ、同窓生ではない方が、一生懸命やっておられる、弘法大師の目にみえない何か、そこにある。われわれ同窓生は死んでも名簿に名前が残る。われわれ同窓生が何とかしなければ、という思いをもち、理事長さん、学長さんとともに、同額の寄付をさせていただくことになった。困難なことが多いことは明らかなだが、母校がつぶれないように、小さいだけではなく、特色のある大学だと社会的にも評価されるように、皆様と共に、尽力していくことにしたい。

以上の意見に基づき、総会終了後に、支部長会を開催し、具体的な案を作成、さらに、支部における会合を積みかさね、継続して協議していくことを、座長より提案され、総会として、これらを了承し、総会は終了した。



平成元年度 総会記念写真

総会ののち、慰霊法要、記念写真撮影を予定どおりすすめ、西村公朝先生の記念講演が行なわれた。西村先生からは、とくに、仏像修理にまつわる秘話が披瀝され、とりわけ、東寺食堂火災にともなう仏像修理には、一同深く聞き入ったことであつた。

記念講演ののち、懇親会場を東急ホテルに移し、親睦の宴に入った。ここで、このたび藍綬褒賞を受けた井上紀生副会長、勲五等を受けた民岡哲雄参与に、記念品として花束を贈り、祝意を表わした。

懇親会は、蠣田宥全事務局員(仁和寺勤務)の司会により進行、遠近各地から参加した方々が、次々と挨拶、終始などやかなうちに散会した。

〔総会参加者〕(順不同・敬称略)

- | | | | |
|-------|-------|-------|------|
| 民岡哲雄 | 松本安正 | 稲佐俊明 | 野口龍弘 |
| 石原高喜 | 福島仁良 | 東野学明 | 井上紀生 |
| 畠田禅峰 | 森田龍雄 | 高吉清順 | 手嶋千俊 |
| 岩橋政寛 | 澤 実英 | 捨田利義猛 | 江坂宗純 |
| 峰 覚海 | 手塚利貞 | 森 見章 | 木村 弘 |
| 淵川利昭 | 篠畑俊成 | 東田教範 | 光沢宏仁 |
| 川崎龍性 | 喜多村龍鳳 | 今井圓明 | 神野龍幸 |
| 宇喜多恵隆 | 市橋眞明 | 吉田裕信 | 生駒研性 |
| 加藤亮匡 | 福島尊光 | 矢城義宥 | 八木龍性 |

- | | | | |
|------|------|-------|-------|
| 池田瑩輝 | 加門得勇 | 手塚 節 | 本郷晋海 |
| 棟広照文 | 蠣田真慧 | 後藤公己 | 小西英安 |
| 土屋博秀 | 田畑祐弘 | 蠣田宥全 | 石原秀一 |
| 久米秀信 | 北村祐道 | 宇喜多龍暁 | 玉山順彦 |
| 酒井寛昌 | 松森良樹 | 渡辺妙幸 | 佐々木龍宝 |

〔学園・大学〕

- | | | | |
|------|-------|------|-------|
| 鷲尾隆輝 | 山崎泰廣 | 夏目祐伸 | 荻谷定彦 |
| 井上亮淳 | 頼富本宏 | 嶋 裕海 | 田中治憲 |
| 都筑大乘 | 吉田 元 | 佐藤久光 | 宮城洋一郎 |
| 児玉義隆 | 金城ちえ子 | 杉本裕子 | |

総会に御祝金を頂戴した方々(敬称略)

- | | | | |
|------|------|------|------|
| 小林隆仁 | 池田瑩輝 | 棟広照文 | 田井秀戒 |
|------|------|------|------|



3月3日 本部役員会

真言宗善通寺派宗務庁
総本山 善通寺

管長・法主 蓮生善隆

宗務総長・執行長 加藤勝眞

〒七六五 香川県善通寺市善通寺町三三一一

電話(〇八七七)六二一〇一一

四国大型キャンペーン特別行事

一、期間 平成元年十月一日～十一月三十日

一、会場 総本山 善通寺

一、内容 特別秘宝展、戒壇めぐり……三〇〇円

。特別秘宝展、戒壇めぐり、錫杖拝戴

(団体に限る)……五〇〇円

。四国八十八ヶ所霊場お砂踏道場開設

(於遍照閣)……無料

一、団体(二十名以上)……二割引

※団参の計画にお加え下さい。

蓮生善隆法主猊下著

『弘法大師と共に』

定価 一四〇〇円(送料二五〇円)

発行 フジタ

ク同行二人ク大師と共に歩み大師の心と大師への思いを慈愛を込めて語る書。

〈同窓会だより〉

正副会長会

池田瑩輝猥下の会長就任にともない、昭和63年度総会にて、選出された副会長の各氏と共に、今後の同窓会の運営等について協議すべく、2月20日、京都市内「吉川」において会合。総会の日程、平成元年度予算案、および、新会長、副会長各氏に、委嘱状が交付された。ここに、同窓会の新しい核が作られたのであった。

出席者 会長 池田瑩輝
副会長 蠣田弘教 井上紀生
手嶋千俊 淵川利昭
喜多村龍鳳

なお、引きつづき、同所において、新会長を囲む会を、同窓会役員有志の方々を中心に開催され、鷺尾隆輝理事長、麻生文雄学長もお祝いにかけて、盛大に、新会長を中心とする新しい同窓会の門出を祝うことになった。

出席者（順不同・敬称略）

池田瑩輝 鷺尾隆輝 麻生文雄 蠣田弘教
井上紀生 手嶋千俊 淵川利昭 喜多村龍鳳
篠畑俊成 今井圓明 足立有教 加門得勇
吉田裕信 市橋眞明 佐藤久光 吉田 元
嶋 裕海 田中治憲 蠣田宥全 上原雅明
都筑大乗 宮城洋一郎 児玉義隆 金城ちえ子

本部役員会

3月3日（金）、午後1時30分より、京都国際ホテルにて、本部役員を一堂に会し、今後の運営等を協議すべく、開催。出席者は、正・副会長、常任幹事、幹事、参与の各役員が出席、とくに、全国11支部からは、支部長またはそれに代る役員がすべて出席。一昨年来の同窓会活性化の歩みが、確実なものであったことが示された。

協議は、池田新会長の挨拶、鷺尾隆輝理事長、麻生文雄学長も来賓として挨拶。つづいて、新役員各氏に池田会長より、委嘱状が渡され、平成4年3月31日まで任期を無事果すことを確認。協議に入る前に、2月に逝去された参与水原哲雄師を偲んで、全員で黙祷。協議は、井上紀生副会長を座長に選出して、進行した。

協議の主な内容は、平成元年度の予算案、会費納入状況と、今後の運営。慶弔費規定の作成等々を協議。さらに、母校、種智院大学改善計画について協議した。麻生文雄学長より、理事会において承認された総額10億円に及ぶ改善計画の概要、

および、その資金的基礎として、経営本山5億円、同窓会・後援会・関係寺院より5億円、とくに、同窓会には、約2億円をご依頼申し上げたい旨、お願いがあった。これをうけて、嶋裕海企画室次長より、詳細な計画概要が述べられた。

ここで、各役員より、母校への熱き思い、支部の現状、将来計画への質問等々、活発な討議が展開、予定時間をはるかに超過。今後、支部において、討議を深め、会員の方々に浸透させ、よりいっそう、煮つめていくことで承。なお、幹事・番場実亮氏より茶菓料を頂戴した。

出席者（順不同・敬称略）

池田瑩輝 鷺尾隆輝 麻生文雄 蠣田弘教
井上紀生 手嶋千俊 淵川利昭 喜多村龍鳳
民岡哲雄 井出寶泉 澤 実英 峰 覚海
岩橋政寛 篠畑俊成 田中実道 法本弘文
土屋博秀 森 見章 今井圓明 祝 宏友
田畑祐弘 生駒研性 多田隆信 東田教範
沖田定信 神野龍幸 菅 智潤 稲佐俊明
井上亮淳 佐藤久光 吉田 元 嶋 裕海
田中治憲 宇喜多龍曉 都筑大乗 宮城洋一郎
児玉義隆 金城ちえ子

森諦圓名誉会長に推戴状

5月10日、池田瑩輝会長は、事務局蠣田宥全、上原雅明の両氏を伴い、香川県三豊郡仁尾町の覚城院に、森諦圓猥下を訪ね、前年度総会において名誉会長に推戴せられた旨、報告。同時に名誉会長の推戴状を伝達。森猥下は、ことのほか、お元気で、新しい同窓会の体制に祝意を述べられ、各地での支部設立を喜ばれ、同窓生の皆様の益々のご活躍を念じておられたとのことであった。

〈支部だより〉

大阪支部設立

2月24日、午後4時よりJR大阪駅前、弥生会館において開催。5回に及ぶ準備会、発起人会等で、深めてきた成果を、設立総会において披露。支部規則、新役員を選出。懇親会に入り、なごやかなうちに散会。

役員 支部長 田中実道
副支部長 西端良諦 法本法文 見城芳行
幹 事 山岸泰忍 藤崎信幸 土屋博秀
吉田恒雄 原田兼一 玉山順彦(会計)
上田靈宣 井上俊章 佐野剛空
白木利幸(会計) 本車田真理子 下谷ゆかり
西田義範



(佐々木初氏提供)

監 査 北村太道 小西光延

顧 問 小松道圓 中塚栄澄 谷田仁司

出席者(順不同・敬称略)

谷田仁司	堀井吾一	田中実道	蓮沼雅春
西端良諦	法本法文	大西 猛	見城芳行
佐々木 初	北村太道	土屋博秀	上田靈直
玉山順彦	武村尚史	見城雅城	佐野剛空
白木利幸	前納信義	山本 学	
大学	荻谷定彦	頼富本宏	宮城洋一郎

滋賀県支部

3月4日午後6時J R石山駅前びわ湖石山ホテルにて、役員会を開催。平成元年度支部総会および、本部役員会の報告等が行なわれ、今年度支部総会の日程・運営を協議。

出席者(順不同・敬称略)

澤 実英 峰 覚海 斎藤長久 野路井宏之
田居龍空 鷺尾遍隆 宮城洋一郎

5月20日、午後5時より、石山寺において支部総会を開催。石山寺座主・理事長鷺尾隆輝殿下も来賓として出席、あらためて、支部結成後の経過報告と今後の運営を協議。さらに、大学企画室次長嶋裕海氏より、改善計画の概要について説明。支部として、協力していく方向を確認した。総会ののち、洗心寮にて懇親会を開き、参加者一同、心ゆくまで、語り合った。

出席者(順不同・敬称略)

鷺尾隆輝 村岡秀全 斎藤長久 澤 実英
野路井宏之 住田行範 田居龍空 鷺尾遍隆
田中正保 嶋 裕海 宮城洋一郎

京都支部

5月15日12時より、洛南会館にて、役員会を開催、総会にむけての対応等の協議、ならびに支部

総会について協議。出席者から、活発に意見が出された。とくに、今後の将来計画に寄せる思いが、力強く語られ、いっそうの発展を大学に望む声が出た。

出席者(順不同・敬称略)

福島仁良 川崎龍性 篠畑俊成 捨田利義猛
本田隆保 秦 祐智 宝山龍一 都筑大乗
宮城洋一郎

6月17日午後1時より、洛南会館にて、役員会を開催。本部総会の決議をふまえ、支部としての今後の方策を協議し、支部総会の日程ならびに、議事について検討。さらに、支部総会にむけて、各役員の分担等も決め、散会した。

出席者(順不同・敬称略)

岩橋政寛 川崎龍性 篠畑俊成 福島仁良
捨田利義猛 宝山龍一 吉田 元

7月11日午後1時より、洛南会館において支部総会を開催。昨年度の設立総会にひきつづき、第2回の総会を開催。支部独自の振替口座、封筒もでき、いよいよ本格的なスタートを切ることになった。総会は岩橋政寛支部長の挨拶と、手嶋千俊本部副会長の挨拶があり、議事に入り、予算案、事業計画を報告。ついで、先般行なわれた本部総会の決議を受け、具体的な支部としてのとりくみを協議。支部会員の方々に、よりいっそう浸透させていくべく、努力していくことを確認。ついで、大学から吉田元・助教授より改善計画の状況説明、児玉義隆同窓事務局員より、同窓会の現況報告がなされた。総会のあと、支部幹事である七味家本舗代表取締役会長の福島仁良先生の記念講演「なれこの功罪」があり、現代の平和な社会にありがちな身近かなテーマを冷静に分析。先生独自の社会観を、一同興味深く聞き入ったことであった。

出席者(順不同・敬称略)

福島仁良 川崎龍性 篠畑俊成 宝山龍一
本田隆保 秦 祐智 捨田利義猛 手嶋千俊
岩橋政寛 山田達圓 田中純應 前田和蓮
黒坂堯栄

大学 吉田 元

同窓会事務局 児玉義隆 中塚千絵

香川支部

5月29日、午前11時より、善通寺グランドホテルにおいて支部総会を開催。高吉支部長の挨拶、

同窓会参与阿部本宣氏の挨拶につづき、座長に木村善匡氏を選出、協議に入った。高吉支部長の経過報告、会計担当の秋山行徳幹事の会計報告につづき、母校の改善計画による増改築の勧募についても討議。県内を三地区に分け、募金の推進、募金額の提示をお願いしていくことを確認した。なお、大学から、北村太道教授、吉田元助教授も参加。大学の現況報告、改善計画の現状等の説明がおこなわれた。終了後、懇親会に入り、支部設立以来の旧交を温めた。

出席者（順不同・敬称略）

阿部本宣 高吉清順 玉久圭澄 建林良熙
 大林教善 木村善匡 秋山行徳 大塚聖純
 菅 智潤 北村太道 吉田 元
 （常任幹事、菅智潤氏の報告をもとに作成）

関東神奈川県支部設立

6月25日、午後5時より、小田原市勝福寺において、設立総会を開催。勝福寺住職 峯 孝雅氏より、経過報告。大学より井上亮淳教授の大学の現況説明があり、支部会則および、支部役員を決定。今後の支部運営について協議。関東の地において、はじめての支部結成を喜びあった。

役員 支部長 中館仙雅
 副支部長 峯 孝雅
 幹 事 稲木康範 北村公秀 松下俊昭
 監 事 須方智證 内藤信道

出席者（順不同・敬称略）

須方智證 中館仙雅 内藤信道 峯 孝雅
 稲木康範 北村公秀 松下俊昭 中館真理子
 大学 井上亮淳 田中治憲

兵庫支部

7月5日午後5時より神戸市天安閣にて、支部役員会を開催。井上紀生支部長より、6月6日本部総会において、種智院大学改善計画への全面協力が決議された旨、報告。これに伴い、兵庫支部において、具体的な勧募計画等を討議した。また兵庫県在住の民岡哲雄勧募委員長より、勧募状況等の説明があり、全面的な支援をお願いしたい旨、要請がなされた。これらの討議を経て、地域割り、勧募方法等について協議された。

出席者（順不同・敬称略）

井上紀生 今井圓明 民岡秀海 民岡哲雄
 竹中弘明 木田宥岳
 大学 山崎泰廣 頼富本宏 田中治憲

岡山県・鳥取県支部

7月17日、午前11時より、岡山駅前の山佐本陣にて、支部役員会を開催。本部総会の報告、支部の今後の運営および、母校の改善計画に対する対応策と、その具体的な実施方法等、綿密に検討をおこなった。その結果、支部の地域割り、各地域の勧募委員の依頼等を、今後積極的にとりくむことを確認。また、大学から井上亮淳教授も参加。改善計画の具体的な進行状況等を報告。母校の改善と発展を願って、参加者一同、決意を新たにした。

出席者（順不同・敬称略）

松本安正 降魔寛仁 石原高喜 安室舜海
 奥寺知光 光沢宏仁 児玉玄祐 田井秀戒
 生駒研性 井上亮淳

愛媛県支部

7月25日、12時より、松山市内の全日空ホテルにおいて、支部役員会を開催。神野龍幸支部長をはじめ、役員諸氏が集まり、大学から佐藤久光学生部長も参加。本部総会の決議をふまえて、支部の対策を協議。

出席者（順不同・敬称略）

神野龍幸 神田諦雲 大黒宜俊 高畑龍憲
 藤田研道 松田戒教 佐藤久光



卒業式・卒業祝賀会

平成元年3月15日、種智院大学卒業証書授与式が、午前10時より、挙行。学長告辞、理事長祝辞のあと、池田瑩輝会長が、同窓会への入会を祝し、あわせて、4年間の学業の成果への賛辞を贈った。池田会長は、とくに、「弟妹たちの入会を心から祝う」旨、挨拶し、卒業生を加えて、さらに充実した同窓会の今後の発展を誓ったのであった。

卒業式終了後、東急ホテルにて、卒業祝賀会が、同窓会・大学共催のもとに行なわれ、同窓会から、池田会長のほか蔵本亮弁、岩橋政寛、東田教範の各氏が、卒業生にお祝いの言葉を述べ、新しい会員の今後の活躍を祈ったのであった。最後に、恒例の、卒業生一人一人が今後の進路を述べ無事終了した。

井上紀生副会長・藍綬褒賞受賞記念祝賀会

平成元年6月17日、午後6時より、神戸市のホテルシェレナにおいて、井上紀生副会長の藍綬褒賞受賞記念祝賀会が開催された。井上氏は、幼稚園教育一筋に50年の功績が認められ、このたびの

受賞となった。現在学校法人立江寺学園の理事長・園長として、たちえ第一、第二幼稚園の経営にあたられ、兵庫県における仏教、教育、社会福祉の各方面における要職に就任され、幅広く活躍されてきました。今般の受賞祝賀会には約370人の方々が出席。兵庫県副知事三木真一氏、衆議院議員砂田重民氏らがお祝いにつけ、池田瑩輝会長も、来賓として祝辞を述べられた。また、本会関係者も多数列席し、祝意を表した。

小田慈舟先生著作集の編集進む

本学名誉教授であり、同窓生にとって、ひときわなつかしい小田慈舟先生の著作集の刊行が計画され、現在、その編集作業が急ピッチでおこなわれている。この著作集は、明年春の先生の十三回忌にあわせて刊行せんと、本学の山崎泰廣教授を中心に、添野智讓（本学講師）嶋田宥全（本会事務局、仁和寺勤務）、小田信明（仁和寺勤務）の各氏によって、編集がすすめられている。明春には、大日経、金剛頂経の研究を中心とする第一巻を刊行する予定とのことである。出版社は、東方出版。

おかげさまで



株式会社 佛壇の畑中

代表取締役 畑中 優 貴

御 指 定

各宗御寺院・兵庫県庁・兵庫県警・神戸市役所・尼崎市役所
西宮市役所・宝塚市役所・日 通・大阪ガス

本部	尼崎市東園田町2丁目181 TEL (06) 498-280	8 F A X (06) 498-6579
箕面今宮店	箕面市今宮3丁目10-10	TEL (0727) 28-4885(代)
川西多田店	川西市平野字川田793	TEL (0727) 92-4743(代)
東豊中店	豊中市熊野町2丁目9番50号	TEL (06) 854-8860(代)
尼崎本店	尼崎市東難波町5丁目16-28	TEL (06) 481-8131(代)
立花店	尼崎市立花町1の10-20	TEL (06) 427-3673(代)
西宮店	西宮市池田町10-22	TEL (0798) 22-8123(代)
宝塚店	宝塚市小林5丁目9-90	TEL (0797) 73-0373(代)
兵庫本店	神戸市兵庫区大開通7丁目4-7	TEL (078) 577-8125(代)
三田店	三田市南が丘1丁目38-4	TEL (0795) 63-7287(代)
西脇店	西脇市富田町字善南寺80	TEL (0795) 23-1980(代)
西脇本社工場	西脇市富田町字善南寺80	TEL (0795) 23-1980(代)

家の事なら御相談下さい

長堀銘木

(58年度卒) 石原

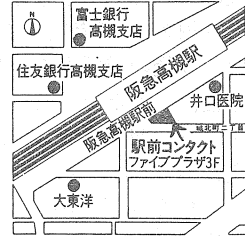
大阪市西区北堀江2丁目2-4

電話 (06) 541-2008

暑中お見舞
申し上げます

コンタクトレンズ専門相談室
阪急 高槻

駅前コンタクト



〒569 高槻市城北町2-4-1ファイブプラザ3F ☎(0726)75-8141
●営業時間/AM11:00~PM7:00 ●定休日/水曜日・第3木曜日(日曜日・祝日営業)

安楽寺住職

蛎田弘教

〒726 広島府中市目崎町二五八一
電話(〇八四七)四一四四四九

四国霊場会々長・教学審議会委員
布教研究所々員

住職 畠田禅峰

〒771-13 徳島県板野郡上板町引野
四国六番 安楽寺
電話(〇八八六)九四二〇四六

高野山真言宗 満福寺

本山布教師 篠畑俊成

〒632-03 京都府綾部市西坂町宮床六五
電話(〇七七三)四九一〇三〇

同窓会会員名簿 発行

頒価二五〇〇円(送料込)

申し込みは本部同窓会事務局まで
同封の振替用紙または葉書、電話
にてお願いします。

福崎町代表監査委員

東寺真言宗 大善寺

住職 棟広照文

〒679-22 兵庫県神崎郡福崎町大貫二四一一
電話(〇七九〇)二二一〇六七

東寺真言宗宗議会議員

東寺真言宗別格本山法興寺住職

東田教範

(自坊)
〒755 山口県宇部市新天町丁目番十八号
電話(〇八三六)二二一八八〇